

▼世界大会予選優勝の表彰を受ける村中さん



いので戦い抜き、見事優勝。世界大会への切符を獲得しました。

村中さんは岩国の高校を卒業後、造船会社社に就職して船の設計などを行っていました。トライアスロンを始めたきっかけは、職場での健康診断でした。数値が悪く、成人病になる恐れがあったことから、禁煙のためジョギングを開始。その後、マラソン大会などに出場するようになり、49歳の時に会社の友人に誘われて初めてトライアスロンの大会に参加しました。完走できたこと、また予想以上の成績を収めたことが自信となり「自分に向いているのかもしれない」と思ったそうです。仕事の出張先でロードレース競技用の自転車を購入したことから練習を重ね、万全の装備で参加

した兵庫県赤穂市の大会で、初めての年次別優勝。推測だった思いが確信に変わりました。その後もいろいろな大会を探しては申し込み、時には週に1度は大会に出ている、ということもあつたそうです。

65歳となった現在は、ほぼ毎日練習に取り組み、目下の世界大会での5位以内の入賞を目指して身体の調整に励んでいます。トライアスロンの魅力について「最後のほうはやはり苦しい、きついという気持ちになります。それ乗り越えてゴールしたときに味わうやり切ったという思いがなんともいえない誇らしい気持ちになります」と語る村中さん。これまでに世界大会へは3回の出場経験があり、各種目のタイムを縮めることができれば、優勝も夢ではありません。世界への挑戦へ向けて、今日も生き生きとした表情で村中さんは練習へと向かいます。



▲ 2011年に行われたハワイ大会でのランニングの様子



▲ 友人たちとの大島一周トレーニングの様子



世界最高峰への挑戦

Vol.53

村中 信一さん
(長野在住)

49歳の時にトライアスロンと出会い、数々の大会で優秀な成績を収められる。10月の世界大会に向けて、日々練習に励んでいる。

